

# 新飯能

発行  
日本共産党  
飯能市委員会  
973-1091

金子とし江  
090-7265-1601  
山田とし子  
090-4389-4439  
新井たくみ  
090-4010-5650  
滝沢おさむ  
090-7000-4481

<議員団の連絡先>  
973-2111(市役所456)  
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

## 議員数削減は

# 市民の声を切り捨てに

## 定数削減案が継続審議に

12月議会に、中村公一・野田直人議員から議員定数を現行23人から4名削減し、19人にするという定数削減の条例案が提出されました。

質疑が終わった段階で、大久保勝議員から21人にするとの修正案と26人にするという金子敏江議員の修正案が出され、議会運営

委員会に審議を付託するという形で継続審議になりました。

今後のスケジュールでは1月16日に議会運営委員会で審議され、27日の臨時議会に報告される予定です。

権時代にあつて、その機能を十分果たすことが重要、そのために議員の質の向上とそれに相応しい議員数が必要であることを指摘し、見解を求めました。

これに対して、答弁者の中村議員は、「チェック機能は落ちるが、少数の方が合意形成が図りやすく、分かりやすい議会になる」「広い地域でも携帯電話があるから問題はない」などと市民の目線からはかけ離れた答弁に終始しました。

### 定数削減の矛盾明らかに

19の提案に対して、滝沢修、新井巧両市議が質疑を行い、定数削減の問題点、矛盾点が浮き彫りになりました。

両議員は、議員定数は民主主義の根幹であること。行政のチェック機能と政策立案機能をもっており、同時に、住民と行政とのパイプ役であること、地方分

### 議員報酬引き上げが本音

また、議会あり方研究会で、「議員を減ら

### 飯能市の定数は少ない

昨年8月段階の全国市議会の定数をみると

自治法が定めた上限定数(5〜10万人規模)30人)に対して、全国平均で19%の減員率ですが、飯能市は23%の減で全国平均を4%も下回っています。さらに市域面積が約200km<sup>2</sup>で埼玉県下で秩父市、さいたま市に次ぐものです。

### 市民からも

## 削減に反対の音が多数

文化新聞が、定数削減問題で意見を募りましたが、議員数をむやみに削減することに反対する声が圧倒的でした。また、12月議会に飯能日高地域労働組合から削減に反対する要望書も提出されています。

地方分権がすすみ、地方自治体に難しい舵取りが求められるいまこそ、市民の立場に立つて慎重な議論が求められるのではないのでしょうか。

### 議会を傍聴して

美杉台 加藤久忠

8月26日に開かれた「議会のあり方研究会」と12月議会を傍聴させてもらいました。研究会では「議員定数と議員報酬などの全体的枠組み」が議論されました。

定数削減を最初に持ち出した野田議員の主張は、「現行議員定数は23名だが19名でいいと思う。そして議員報酬は堂々と上げて欲しい。冠婚葬祭などに出費が多くて大変だ」というもの。中村議員も「定数削減をしないと報酬値上げのチャンスがない」など。まさしく何とかの「山分け論」に似た論議で、議員のあり方の本質議論はゼロでした。自分の報酬を上げたくて、市民の声を重要な代弁者たる議員数を減らすという発想は、憲法が定めた地方自治の本旨の意味も、地方分権の時代も全く理解していません。議員の数の削減は、議員だけの問題ではありません。主権者であり、選挙権と被選挙権を持つ市民一人ひとりに関わる問題です。議員の役割は、市民の目となり耳となつて行政を監視し、市民要求を実現するように市長に迫っていくことです。議員の数と質、議会活動のあり方について、十分時間をかけて慎重な議論がなされるべきです。

## 波 紋

「牛はのろろと歩く」で始まる高村光太郎の「牛」をしばらくぶりに読んでみました。世の中どうなつてしまふのかという不安な年明けに、牛のどつしりした貫禄は頼もしくさえあります。のろろと歩いている牛はへけれども馬鹿に敏感で、三里さきのけだもその声をききわけ、へ未来を明らかに予感するところの牛です。▼仲代達矢さんは「うろたえるな」といいました。今の状況に大変だといっているだけでは駄目だ、牛のように大地を踏みしめて歩けといつてようにも感じられる発言でした。現代の新しき村といえる「派遣村」は大きなインパクトを与えました。派遣切りという天下の非道を許さないという、熱い連帯の力が政治を一步一步変えてきていることを実感させてくれる光景でした。▼利口でやさしい眼と／なつこい舌と／かたい爪と／厳肅な二本の角と／愛情に満ちた啼声と／すばらしい筋肉と／正直な涎を持つた大きな牛、今ほど牛が求められている時はないと思いませんか。牛の姿は日本共産党の姿にもたぶります。この牛といつしよに市議選、総選挙の勝利のために全力をつくしたいと思えます。そこで新年の五七五へどつしりと力をためて牛の年〜?!。進歩がありません。



# 椿本チェーンでも派遣切り

## 派遣労働者が組合に入って闘う

アメリカ発の金融危機に端を発した景気悪化が日本経済に深刻な影響を与えています。こうしたなかで、大企業が派遣社員や期間社員を相次いで解雇やリストラする動きが広がっています。

市内の大手企業である椿本チェーンや新電元工業でもそうした事態が起きています。

派遣社員が働いているというのですが、12月中旬に約60人の派遣社員に対して、12月26日付けで契約の打ち切りと寮からの退去が言い渡されました。

### 派遣労働者が組合に入って闘う

雇用止めをされたAさんが、埼玉労働組合連合会に相談、飯能市高地域労働組合連合会とともに、相談を受けました。



浅間にある椿本チェーン

雇用止めをされたAさんが、埼玉労働組合連合会に相談、飯能市高地域労働組合連合会とともに、相談を受けました。

派遣先が働いているというのですが、12月中旬に約60人の派遣社員に対して、12月26日付けで契約の打ち切りと寮からの退去が言い渡されました。

雇用止めをされたAさんが、埼玉労働組合連合会に相談、飯能市高地域労働組合連合会とともに、相談を受けました。

## 派遣切り、リストラで緊急雇用を 雇用 景気対策で申し入れ

日本共産党飯能市議団は12月25日、沢辺市長あてに、景気悪化を理由に市内大企業でも派遣労働者の解雇

が始まっており、自治体としてできる施策を講じ、一人の労働者も路頭に迷わすことのないよう緊急雇用対策など申し入れを行いました。



要求書の主な内容  
①派遣労働者との雇用関係が引き続き存在していることを確認し解

要求内容は、①長期間の休暇となるため市民の緊急の相談に対応できる体制を。②新電元工業や椿本チェーンなどの市内大企業でも非正規労働者の首切り

## いまこそくらし応援の政治を 党議員団が新年の街頭宣伝



飯能市議選・市長選・総選挙の政治決戦が行なわれる2009年、日本共産党飯能市議団の金子敏江、山田利子、新井巧、滝沢修市議は2日、市内各所から街頭からの訴えを行ないました。

決意を込めて街頭から訴えると、寒いなか、立ち止まって演説を聞く方や大きく手を振って応援してくれる方の姿が目立ち大変励みになりました。

### 文化欄



●平成の歳時記にあり蟹工船  
●婆の手をみちびく孫や福笑

埼玉アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会  
飯能支部・結成記念講演会  
食糧高騰・世界で暴動  
日本の食糧自給と安全な食べ物  
1月25日(日)午後2時  
富士見公民館  
講師：松本慎一さん  
埼玉農民連事務局長  
参加費：300円(資料代・コピー代)

